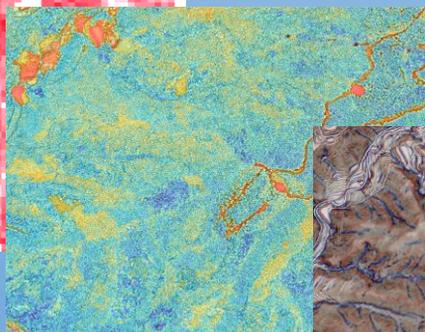


航空レーザ計測データを使えば ちゃんと林業現場を考えられるか？



日時:2024年11月29日(金)13:30 - 16:30

会場:徳島県立農林水産総合技術支援センター
(徳島県名西郡石井町石井字石井1660)大会議室

主催者開会の挨拶

中野 昭雄(応用森林学会副会長)

趣旨説明

藤井 栄(徳島県立農林水産総合技術支援センター)

13:35-13:55

林業収益向上のための課題と今後の取り組みについて
宇都木 玄(森林総合研究所)

13:55-14:25

航空レーザデータによる地形情報の活用について
戸田 堅一郎(株式会社 ジオ・フォレスト)

14:25-14:55

航空レーザデータを活用した高精度森林資源情報について
中尾 勝洋(森林総合研究所 関西支所)

14:55-15:25

真の林業DXとは。デジタルデータを繋ぎ、一粒で3倍
おいしくなるために
大萱 直花(一般社団法人 日本森林技術協会)

15:35-16:30

話題提供
林業現場での航空レーザ計測データ活用事例
工藤 大和(公益社団法人 徳島森林づくり推進機構)

総合討論

～森林情報をどのように現場で活用すべきか～
[パネリスト]講演者、平島 聡一郎(徳島県林業振興課長)
[司会]宇都木 玄

16:30

主催者閉会の挨拶
岡 輝樹(応用森林学会会長)

近年、全国的に航空レーザによる森林計測が進み、高度なデータ分析が蓄積されつつあります。これらの成果は林業の収益性改善に繋がるものとなっているのでしょうか。

本シンポジウムでは

- ①林業現場に必要な収益性とその課題について
- ②地形から見える、素材生産コストの低減 + 安全性向上について
- ③樹高成長から見える、ほど良い精度の森林生産性について
- ④真の林業DXとは。デジタルデータを繋ぎ、一粒で3倍おいしくなるために

といった話題を提供します。その後、林業現場での航空レーザ計測データ活用事例を報告し、今後の課題や進むべき方向性について議論したいと思います。

参加方法: 応用森林学会ホームページ

(<http://www.applforsci.jp/index.html>)にあるシンポジウム参加フォームから申し込みください。

参加フォームは右のQRコードからもアクセスできます。

【ハイブリッド開催 WEB参加可】

WEBでの参加を希望される方にはURLをお送り致します。

